

と考えています。

また、大学を卒業されて小学校、中学校、高等学校の教職につかれています約1300余名の会である「東京電機大学教職校友会」の皆様には、直接生徒の皆さんに本学のよしとすることを広く紹介していただきたく思うところです。

2年後の創立100周年を迎えるにあたり、私は記念事業の推進を第一に考えると共に本学の歴史と伝統、建学の精神であるその特色を生かしつつ、将来に向けて「本学独自の新しい教育・研究の拠点づくり」を構築し、活力あふれる人材の育成に努めてまいります。

これまで本学が躍進してまいりましたのは、ひとえに18万余名の卒業生の皆様と教職員をはじめとする学園をとりまく関係者のご支援の賜であります。学園を代表して心から感謝の意を表します。今後共、皆さまにはより一層の連帯と友情をご期待申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

■「新時代に対応して」千葉県支部の皆様へ

(社)東京電機大学校友会 理事長 矢野 善治
校友会千葉県支部の皆様には、講演会や見

学研修会等を開催され常に研鑽に努められていることに敬意を表しますと共に校友会活動に積極的にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、平成19年(2007年)9月には電機学校として創立した私達の学園は100周年の記念すべき日を迎えることとなります。

その間、社会と科学技術の変遷と発展は著しく、電機学校に始まった学園も工業学校、工業専門学校を併設し、学制改革により高等学校、大学へと移行しさらに高等学校に中学校を併設してそれぞれの時代に対応した理工系

総合学園として発展を続けてまいりました。

ところで人は三種の年齢をもっているそうです。「戸籍年齢」、「肉体年齢」、「精神年齢」です。戸籍年齢は変えることはできない年齢ですが、肉体年齢と精神年齢は人それぞれの生き方により変えることが出来るわけです。

私達の母校である学園を人の年齢にたとえれば、戸籍年齢に相当することは長い年月で輩出した18万余の卒業生であります。常に若々しくありたい肉体年齢に相当するものは建前と設備であり、瑞々しいありたい精神年齢に相当するものは先生方の愛情ある教育とプロジェクトの実践とそこに集まる学生、生徒であると思います。

教育政策研究所など世界の教育研究機関が加盟する国際教育到達度評価学会(IEA)が昨年暮れに発表した「国際数学・理科教育動向調査」によると調査の対象になった日本の中学・二年生と小学校四年生の平均得点は、国際的には上位にあるものの小学校理科と中学校数学の平均点は前回の調査よりも低下していることが分かったとのこと。また宿題をする時間が調査に参加した国・地域の中で最も短く、テレビを見る時間は長いとのこと。これらの結果を受けた文部科学省は

「子供の学力は、国際的に見て上位だが低下傾向にある。特に、学習意欲や習慣の改善に取り組む必要がある。結果を詳しく分析して対応する」などと重く受け止めているようです。

中山文科相は、「もはや日本の子供の学力は世界のトップレベルとは言えず、厳しく受け止めなければならないが、大学全入時代が間近に迫り、勉強しなくてもいいという風潮もあるようだ。世界のトップレベルを目指して全力を挙げる。」とコメントをしています。

本学はこのような世相の中で、教育・研究プロジェクトについては、2003年「21世紀COEプログラム」と「特色ある大学教育

支援プログラム(特色GP)」に採択され、2004年には「現代的教育ニーズ取組み支援プログラム(現代GP)」に選定されております。今後はさらに人や社会に役立つ学問と研究である伝統の「実学」の道を大いに発展させてほしいと思うところです。

周年記念事業の一環である神田キャンパス再整備としての「100周年記念館(仮称)」建設については、学内の学生教職員のみならず入学志願者や卒業生にも充分に魅力ある建築物になることを望んでいるところです。

校友会といたしましては、学園発展のための記念事業にたいして協力を惜しむものではありません。千葉県支部の皆様にも募金等を含め絶大なるご支援を仰ぎながら学園の記念事業に対して協力を進めて行きたい存知ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

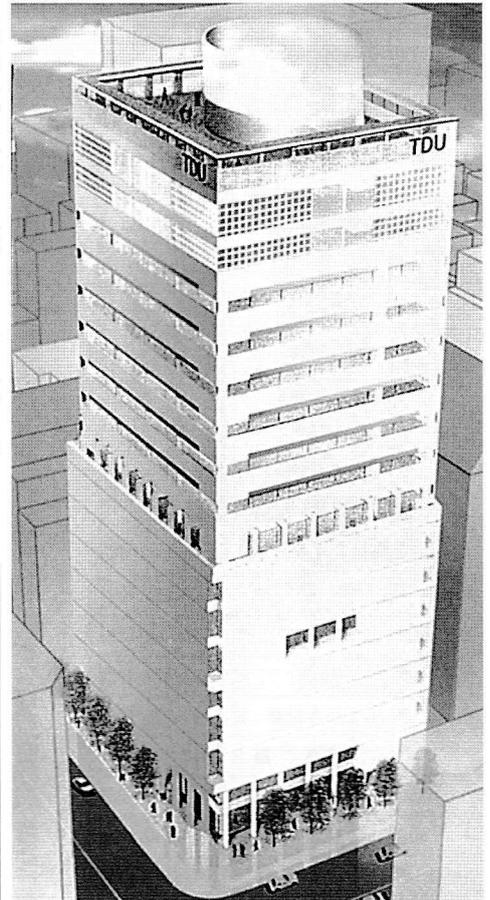
■「創立100周年」

学校法人東京電機大学
創立100周年記念事業
推進本部長 円谷幸一郎

学校法人東京電機大学は、平成19年(2007年)9月11日に創立100周年を迎えます。

この創立100周年記念事業として、1. 「神田キャンパス再整備事業」2. 「大学院の充実強化・COE研究拠点の形成」3. 「4キャンパスにおける教育研究用施設設備の整備・充実」4. 「セミナーハウスの整備」5. 「卒業生・企業との連携強化」の5つの記念事業を実施に向けて推進しているところです。記念事業の目玉として本学園発祥の地であ

東洋熱工業株式会社 東京本店長補佐 松本 宏 (昭和33年卒)	株式会社しの・いんしゅあらんす 代表取締役 篠崎 浩一 (昭和41年卒)	高率電設株式会社 代表取締役 小川 重二 (昭和28年卒)	株式会社DSSセンター 代表取締役 花井 卓郎 (昭和35年卒)
城南電設企業株式会社 代表取締役 並木 鷹男 (昭和44年卒)	城南電設企業株式会社 常務取締役 徳久 昌之 (昭和44年卒)	交栄電気株式会社 代表取締役 大塚 武昭 (昭和42年卒)	モデン工業株式会社 代表取締役 関 泰雄 (昭和26年卒) 渡辺 武男 (昭和26年卒) 秋山 昭七郎 (昭和30年卒)
株式会社MFCA チーフエンジニア 松本 武 (昭和39年卒)	千葉電気工事株式会社 代表取締役 喜多村 賢一郎 (昭和35年卒)	東光電気工事株式会社東関東支社 内線課長 山本 隆洋 (昭和55年卒)	
株式会社鹿北電気工事 工事部長 田中 豊明 (昭和34年卒)	千葉県議会議員 竹内 圭司 (平成4年卒)	株式会社アベック 営業部長 岡野 勇 (昭和42年卒)	



100周年記念館（構想図）

る神田キャンパスには、さらにこれからの100年を見据えた、新校舎としての100周年記念館（写真）を建設する予定で進行中です。

一方鳩山キャンパスでは、記念事業の一つでもある、COE研究拠点施設の新館が、平成16年12月に100周年記念棟として竣工し、すでに1月よりCOE研究棟と学生ラウンジとしての使用を開始しております。

以上の事業は、多くの皆様のご厚志を予定のもとに進めており、何卒格別なご支援を賜りますようお願い申し上げます。記念事業募金への寄付者すべての方につきましては、「芳名録」に末永く顕彰させていただきますが、個人累計3万円以上、法人・団体、10万円以上のご寄付につきましては、「寄付者銘板」に記載し、学内に設置してご芳名を末永く顕彰させていただきます。

千葉県支部の皆様方には、よろしくご協力とご支援をいただきたくお願い致します。現在の募金応募状況については下表の通り報告します。

創立100周年記念事業寄付金集計表
 <平成15年4月～平成17年2月>
 (平成17年2月28日現在)

	件数	金額
在 学 校 生	743件	43,939,000円
ご 父 母		
教 職 員	123件	45,425,000円
元 教 職 員	53件	9,890,000円
法 人	12件	8,600,000円
卒 業 生	469件	18,790,000円
そ の 他 *	5件	1,075,000円
合 計	1,405件	127,719,000円

*その他：団体

■『秋の温泉旅行・紅葉が最高!』

副支部長 徳久 昌之

7月役員会の欠席裁判で親睦旅行会を計画し実行せよと言う先輩の要望で旅行担当を仰せつかりました。真つ盛りの紅葉と温泉それにちよつと一杯入れて日頃の疲れを癒し益々の交友と親睦を深めるのを目的に計画を行いました。宴会も車中も飲み放題、カラオケやコンパニオンもついて大いに楽しめ、支部幹部も勢ぞろいして皆様に活動内容や母校の近況等もお伝えする事が出来ると言うキャッチフレーズで募集を行いました。役員とはメールでご意見を伺いし旅行会社と交渉し日光

鬼怒川に場所を決定致しました。限られた費用での計画で目標人数さえ集まればやれるとの方々にFAX郵送メール等でご案内する事にしました。相当な数で松本武副支部長に助けを頂き何とか案内を送る事が出来ましたが、これから人数の確保と役員への情報の交換が始まります。毎日のように、役員へメールを送り返事をくれた方の情報交換を行い、最終的には14名の参加で決行する事になりました。11月7日千葉駅前を出発した車中では、電機大学の校歌が流れいよいよ懇親旅行の始まりです。ご寄付で頂いた潤沢な飲み物やおつまみで気分も上々盛り上がり、一人一人が近況や思いを語り、あつという間に日光まで来てしまいました。昼食後霧降の滝見学、霧降高原を越え川治ダムで休憩、紅葉見物とマイナスイオンを一杯吸って鬼怒川温泉到着です。まずは温泉、先輩との裸の語らひは何とも言えない癒しの一瞬です。いよいよ最大のイベント大宴会の開会です。松本宏支部長にご挨拶を頂き美味しい食事と美味しいお酒、それにコンパニオンが花を添えてくれました。前支部長の小川さんの仕切役で、大カラオケ大会も行われ最高の盛り上がりです。8日は龍王峡から日塩モミジラインを通り紅葉狩りを満喫、支部長紹介の益子の窯元へ到着。登り窯へ火を入れてる最中で、めつたに見る事が出来ない素晴らしい光景や説明を受け楽しく懇談をさせて頂きました。一路柏経由で帰路に向かい、全員から企画上々本当に楽しかったと誉めて頂き安堵感と共に感謝に堪えません。

■ヒマラヤトレッキング①
 副支部長 田中 豊明
 前号の支部だよりの末尾に「ネパールは不思議な国だ、また行きたい」と記した。平成一六年三月に再度、ネパールへ行くことになった。
 山岳部OBのロートル五名(三四年卒の井上智教、田中豊明、三八年卒の森本豊男、四三年卒の福田純一、四四年卒の内蔵英明)です。今回は三月四日成田発、三月二十五日成田着の二日間、アンナプルナ山群のマチャプチャレ(六九九七米)から南にのびている尾根にあるコルチョンピーク(三六八二米)に登頂と。
 英国の探検家ティルマンが「世界で最も美しい谷のひとつ」と紹介したランタン谷を、深く浸食されたV字峡谷から、氷河が作ったモレーン丘のある開けた明るいう字地形の谷を遡る。
 左右にある雪と氷河を頂いたヒマラヤの高峰を見ながら四二〇〇米地点までの旅。
 アンナプルナ山域とランタン山域の二つの地域をトレッキングする旅です。
 サープ(旦那)五名、サーター一名、スタッフ三名、コック一名、キッチンボーイ三名、ポータ六名、現地採用のポータ二〜四名、合計二〜三名のキャラバン隊です。
 我々サープは、カメラ、雨具、セーター等必要な物のみを背負うだけで良い、その他の荷物はポータが運んでくれる。
 朝昼晩の食事はコック達による上げ膳、据膳。キャラバン初日、石材運搬トラックの通る埃だらけの道を一時間程歩き、吊り橋のある広い川原に出て昼食になった。
 このとき、ここへ来る道々二人連れのチベット系の中年男が、ニコニコしながら我々

今回参加出来なかった方々も総会やイベントには是非ご参加して校友を深め楽しんでみませんか!

にからみつく様に同行していた。
 「日本人か」等と話しかけてくる、町で買い物をして村に帰る人だと思っていたら、我々が食事をしている近くに二人がそれぞれ一米の布の上にネパール土産の品を並べ我等五人の為に店を開いた。

「これ高くない」「これ奥さんにいい」と懸命に勧める、我々が立ち去るまで商いをしたが、売上げは無し。
 五日後の帰りに同じ道で二人にすれ違ったので声をかけたらニコニコ手を振っていた、商売になったのかな。

〔つづく〕

第34回千葉県支部通常総会報告

副支部長 花井 卓郎

第34回通常総会を平成16年6月12日(土)、母校の千葉ニュータウンキャンパスにて約60名の出席者で開催しました。小川支部長の挨拶に始まり、加藤学園理事長より「学園の現況」並びに100周年に向けての計画等についてご説明いただきました。

引き続き議事に入り、平成15年度事業、決算、監査の各報告、平成16年度事業計画、予算、役員の変更と全てが順調に承認されました。今年度より、支部長は、小川重二氏が退任され、松本宏氏が就任しました。2期4年間の重責を果たされた小川支部長には退任のご挨拶を頂き、校友会本部より感謝状と記念品が贈呈されました。併せて新支部長より記念品が贈呈されました。

また松本新支部長から就任挨拶と抱負が述べられました。

副支部長は、嶋田建弘氏が退任し、支部活動の強化のため、松本武氏、徳久昌之氏、田中豊明氏に加え、喜多村賢一郎氏、花井卓郎が就任、常任幹事には、高橋洋二氏に加え、

東京電機大学校友会

千葉県支部役員名簿(案)(平成17年度)

役名	氏名	TEL
支部長	松本 宏	047-462-6205
副支部長(支部長補佐)	松本 武	047-479-4927
副支部長	喜多村賢一郎	043-236-1867
"	徳久 昌之	043-237-7512
"	田中 豊明	0439-67-0335
"(会計)	花井 卓郎	04-7166-0206
常任幹事	高橋 洋二	047-354-1762
"	大塚 武昭	043-271-2735
"	畠山 忠之	043-423-4284
幹事	黒沢 昌弘	0475-52-5538
"	竹内 圭司	0436-60-8050
"	猪狩 俊明	0436-22-4656
"	篠崎 浩一	043-254-8151
"	市川 勝利	043-432-6432
"	岡野 敦	0474-50-0483
"	桜井 智明	0470-92-0267
"	葛西 信司	047-475-7393
"	茂木 仁博	0471-91-4184
"	匠 勇治	048-832-9524
"	増田 修一	043-275-6703
"	鈴木 力	043-443-3483
"	大石 博	043-491-4687
"	岡野 勇	0476-99-0752
"	山本 隆洋	047-493-3626
監事	緒方久 四郎	047-491-6671
"	山本 忠雄	047-337-2380
相談役	小川 重二	047-472-2656
"	関 泰雄	043-261-3284
"	山本 登	047-337-9021
"	竹内 保	047-353-2552
"	杉沢 順一	047-378-8951
"	小林 建治	047-365-4838

大塚武昭氏、畠山忠之氏が就任しました。

引き続き、特別公開講演として、東京電機大学情報環境学部情報環境デザイン学科教授 浜田春夫工学博士より「新しい立体音響技術とその展望」と題して、独自のサウンド再生処理技術(DVX)とその更なる新分野への展開について講演いただきました。

後刻、大学研究施設によってその素晴らしいサウンド音響効果を体験し、聴講者一同、新しい音響技術への興味を高めると共に、感銘の度を深くしました。

講演後、会場を福田ホールに移し、懇親会を開催、ご来賓として、加藤学園理事長様、田谷学園理事様、中村情報環境学部部長様、高野100周年推進部長様、櫻井事務部長様、校友会より矢野理事長様、高久常務理事様、近藤大学同窓会長様、浅見局長様、天谷課長様を始め多数の方々のご出席を頂き、矢野校友会理事長様のご挨拶に続き、高久常務理事様に乾杯のご発声を頂き、懇親会は和やかに進められ、松本支部長補佐の中締めにて無事終了いたしました。

最後になりましたが、会場の設営にあたり学園並びに校友会事務局の皆様のご援助に厚く御礼申し上げます。

千葉県支部総会と講演会及び懇親会のご案内

第35回千葉県支部 総会と講演会及び懇親会を下記の通り開催致します。

【講演会】(ごなだでも聴講できます)
 日時：平成17年6月11日(土)
 11:00~12:00(受付:10:30)

会場：東京電機大学
 千葉ニュータウンキャンパス
 教育棟2階206室

テーマ：「外からの測定だけで人間の脳の働きを探る方法の研究」

講師：東京電機大学教授 先端工学研究所 長 工学博士 根本 幾先生

【総会】

時間：12:10~12:50

総会は引き続き同場所にて開催

議題：平成16年度事業、決算承認。17年度事業、予算案承認、役員増員の件

【懇親会】

時間：13:00~15:00

場所：同キャンパス内福田ホール多目的室
 (当日ご案内致します)

会費：¥3,000円

*尚、総会、懇親会には学園及び校友会幹部の皆様、先生方にもご臨席をお願い致します。

*ご出席者には校友会、学園のしおりと記念品を用意させていただきます。

連絡先(支部事務局)：
 高率電設株式会社内
 〒263-0023
 千葉市稲毛区緑町1-5-8
 TEL 043-242-1539
 FAX 043-242-1884
 e-mail
 kouritu@green.ocn.ne.jp
 支部長
 hmahumoto@tonets.co.jp

編集後記

千葉県支部だより第八号の発行からお手伝いをする事となりました。これを機にどうぞよろしく申し上げます。

「支部だより」への感想、要望、ご意見等ございましたら、事務局の方へごしお寄せ下さい。尚、次回支部だよりのご投稿ありましたら、お願いいたします。

山本 隆洋